



- 1 **羅針盤** 質の高い試行錯誤を重ねる
- 3 経理部をご紹介します！
- 5 抜群の注目度！「足場パック」の目玉商品
- 6 ますます忙しい木材劣化診断士
- 7 雨漏り調査ならこれで決まり
- 9 発売以来大好評 スカイコートW
- 11 高齢者の住み替えを考える

質の高い試行錯誤を重ねる



意識、意欲が極めて大事

成果を上げる人と上げない人の差は、才能ではなく、そのために必要ないくつかの習慣を身に付けているかどうかです。能力の差は 5 倍、意識の差は 100 倍も違うのです。

また、「能力（10 点満点）×意欲（10 点満点）の 2 乗×心の姿勢（10 点満点）＝成果（1 万点満点）」という 3KM 方程式原理においては、意欲が勝敗を決めます。

このように、意識、意欲が極めて大事なことが、おわかりいただけますでしょうか！

そして、更に成果を継続的に上げるために一番大事な習慣は、「質の高い試行錯誤」を積み重ねることです。

ビジネスにおいては、これをやれば絶対成果が上がるという保証はありません。そのような中で、成果を上げるためには、こうしたらよいのではないかと思うことを、数多く実証実験をして、軌道修正をしながら成果に繋げていくことしかないのです。極めて数多くの実証実験が必要です。

まさに、試行錯誤が大事なのです。単なる試行錯誤ではなく「質の高い試行錯誤」を重ねていくことが大切です。

では、試行錯誤の質を高めていくにはどうしたらよいのでしょうか。

揺るがない心で発想する

人の心には、現実に対して、いろいろな感情が生まれる「揺れ動く心」と、現実からの影響を受けない「揺るがない心」の2つがあります。自分の中に、この2つの心があるのが何となくわかりいただけますでしょうか。

そして、質の高い試行錯誤をするということは、揺れ動く心からではなく、揺るがない心から発想し、決断し、行動するということです。

揺るがない心とは、心の奥底で思っている、こういう自分でありたい、こんなことを実現したいという願いです。

例えば、「3KMのありたい姿」をビジュアル化するとよくわかると思います。

それは、自分がどんな現実直面したとしても、変わらない強い願いです。

いつも「報恩感謝・至誠一貫・堅忍力行の精神で使命責務を果たしたい」「堂々と生きたい」「お客さまを笑顔にさせたい・喜ばせたい・感動させたい・常に最善を尽くしたい」などです。

まさに、どんな状況にあったとしても、追求し続けたいと思う願いです。目的・目標は達成するものであり、願いはどこまでも追求し続けるものなのです。

この揺るがない心に軸をおき、その願いを意識しながら、意欲を持って発想し、決断し、行動することが、質の高い試行錯誤につながっていきます。

これは、世の中で成功している人や、会社で高い業績を上げている人のほとんどが実践していることです。

例えば、3KMを導入している企業と、実践している人たちです。

企業でいえば、土屋ホーム、岡本グループ、トムコ、その他多数、人でいえば、スキージャンプ界のレジェンドと呼ばれた葛西紀明氏をはじめ、大見智晴氏、土谷幸三氏、その他多数です。

自分の揺るがない心を明確にして、そこに軸をおくということが、成果を持続的に上げるための決定的なポイントであるといえましょう。

そして、発展は小さな工夫の積み重ねです。同じことの繰り返しの進歩はありません。どんなにわずかでもいい、新しい方法を工夫することが大切です。

失敗することを恐れるよりも、工夫の無いことを恐れます。一番の失敗は、何もしないことなのです。

躍進の縁の下の力持ち 経理部をご紹介します！

（注：写真撮影のため、ほんの一時的に、マスクを外しました）

事務方全般の統括管理セクション

「お電話ありがとうございます。株式会社躍進です」の一声とともに、お客さまからいただいたお電話に、最初に出るのが、躍進の経理部のメンバーです。

経理部といっても、一般的な経理、財務、会計業務だけを取り扱っているわけではありません。他社の経理部とは違い、事務方全般の統括管理セクションなのです。

経理関連業務のほかに、工事の工程管理、注文書の確認・手配などの業務部的な役割や、庶務、福利厚生を含めた人事労務全般を扱う総務部としての機能を果たしています。

経理部のチームリーダーである笠井法子取締役（写真前列右側）は、笠井輝夫社長（写真前列中央）の奥様として、躍進創業時から、これまで社長と二人三脚で歩み、会社をリードしてきました。

そして、ここ2年間で、スタッフの顔ぶれも一新いたしました（後述）。

新しいスタッフが入社すると、その都度基本に立ち返り、同時に、業務を見直すきっかけにもなるため、さらにバージョンアップすることができました。

そんな経理部のキャッチフレーズは「笑顔と感謝」です。お客さまには、常に感謝の気持ちをもって、対応させていただいております。

20年以上にわたって、会社経営を維持できているのは、言うまでもなく、お客さまのご支持があればこそです。このコロナ禍のなかでも、お仕事をいただけるというのは、本当にありがたいことです。

新たなメンバーは多士済々

この2年間に、経理部スタッフとして加わった3名のメンバーをご紹介します。

・竹内香織(前ページ写真後列右側)〈2019年12月入社〉

学生時代は、介護福祉を専攻し、ディサービスでの勤務を経て躍進に入社しました。経理部では、本年4月より、受注管理業務に当たっています。

文具全般を収集することや、料理や菓子づくり、手作りマスク作成などが趣味で、仕事と子育てに奮闘中です。介護福祉の経験者らしく、人のために役立ちたいという精神に溢れています。4月より携わっている受注管理業務に対しても、新しく覚えることは多いものの、やる気に満ち満ちています。

・馬場希(前ページ写真後列中央)〈2019年3月入社〉

金融機関勤務を経て、躍進に入社しました。

読書、写真撮影、文章を書くことが趣味で、仕事のモットーは「意図を考えて仕事をすること」です。相手の意図、業務の成り立ちの意図を考えながら仕事をし、どうしたら気持ちよく仕事ができるか、常に改善を心掛けています。

そして、何事もプラス思考で臨み、自分の現在地を知りながら、自分に何ができるかを確認し、物事の間の溝を埋めながら、人生を歩んでいきたいと望んでいます。

・渡邊裕子(前ページ写真後列左側)〈2021年2月入社〉

中古自動車(外車)の販売業において、経理をはじめ、総務、営業事務、広報、保険業務など、事務方全般の幅広いジャンルを経験しています。

趣味は、ネイルアート、ヨガ、着物の着付けなどです。元来、ものづくりが好きで、学生時代はデザインを専攻していました。

建築業界での仕事は初めてですが、スーパーポジティブ思考で頑張っています。そして、すべてに感謝し、日々楽しく、笑顔溢れる、豊かな人生を送ることを目標にしています。

このように、経理部では、笠井取締役を中心に、4人のメンバーが活躍しています。

未来の躍進に対して、今後、経理部が果たすべき役割は大きく、他のセクションをバックアップしながら、締めるところは締める、良妻賢母型の組織を目指していきます。

今後とも、躍進の経理部を、よろしくお願いいたします。

抜群の注目度!「足場パック」の目玉商品

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」は、現在、スプリング・キャンペーンを開催中です。そして、その目玉商品が『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで、床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので、地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病虫害の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により、1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。



ますます忙しい木材劣化診断士

床下点検に多くの実績がある躍進には現在、4人の**木材劣化診断士**がおります(写真参照)。春から初夏にかけて、ますます忙しさを増しております。



木材劣化診断士は、木材の生物劣化(腐朽と虫害)の診断技術の専門家です。外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を有しています。また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

そんな躍進の木材劣化診断士は、「**お客さま第一主義**」を徹底しております。

すべての仕事は、まずお客さまありきです。何事も、お客さまからスタートしなければならないのです。

まさに、「お客さま第一主義」こそ、木材劣化診断士の原点と心得ております。

常に、お客さまの立場に立って、物事を考えます。

そして、お客さまのニーズを掴み、それにすばやく的確に応えることが躍進の使命・責務と考えております。

「地域のホームドクター」として縦横無尽の活躍

また、躍進の木材劣化診断士は、「**地域のホームドクター**」として活躍中です。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。そして、肝心なのは、治療だけでなく、「**住まいの予防医学**」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって、食害・侵食された家屋の耐久性は、著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

その最前線で活躍しているのが、躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」としての役割を果たしているのです。

床下点検は、前述の通り、まず土台や束などの木材の状態をチェックします。

点検で蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく、玄関にも羽蟻が発生しやすく、見落としがちになってしまいます。

こうした点を満遍なくチェックするのが、「地域のホームドクター」なのです。そして、「住まいの予防医学」の実践に邁進し、「地域のホームドクター」として、縦横無尽に活躍しております。

床下点検からはじまる「家の安心・安全」は、「お客さま第一主義」の躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

雨漏り調査ならこれで決まり

もし雨漏りの疑いがあるのなら、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』で、必ず調査を実施してください。

散水調査と水張り調査

雨漏りの調査には、一般的に、散水調査と水張り調査があります。

散水調査とは、雨漏りが発生していると思われる箇所に、雨降りの時と同じ状態となるように水を撒き、意図的に雨漏りをさせ、原因を確認する方法です。

また、水張り調査とは、陸屋根の場合、屋上に水を張って、その水の漏れを確認する調査方法です。

しかし、原因の特定は、熟練したプロですら難しいものです。原因が特定される保証が

無いのです。すぐに漏水箇所を発見でき、簡単な処置によって修繕できるケースもあれば、調査を繰り返して、やっと発見できる場合もあります。

原因が特定できなければ、外壁、屋根、防水等の全体改修を実施しなければなりません
が、それではコストも時間も、かかりすぎてしまうのです。

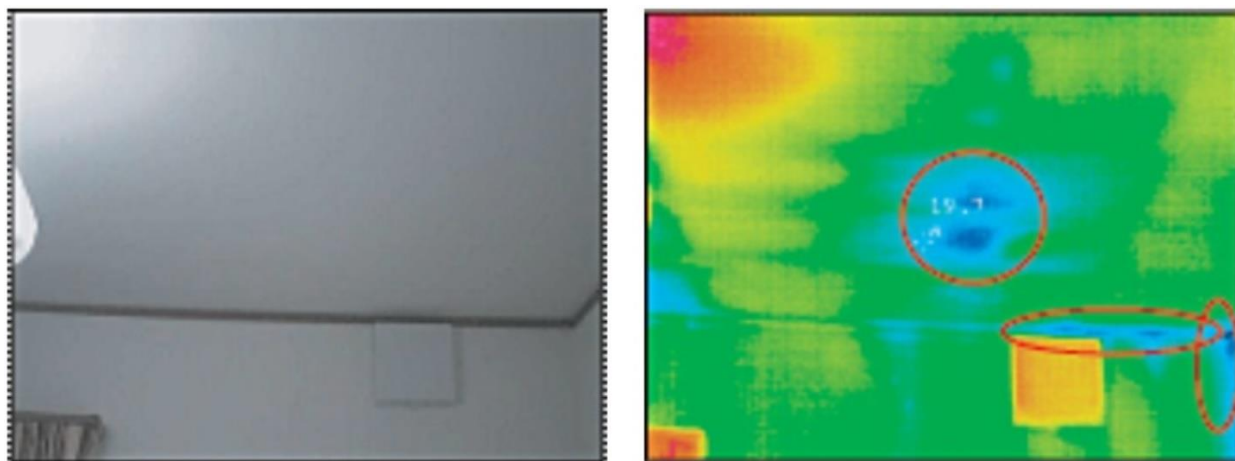
赤外線利用ならではの調査精度を確保する

専門の調査会社が、調査・補修をくりかえしていながらも、一向に雨漏り被害が改善されないという、そんな悩みを一気に解決したのが、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』です。

赤外線は、温度を持つすべての物体から、その温度に応じた波長分布によって、自然に放射されます。その波長分布を、色画像として示し、様々な状態を分析する装置がサーモグラフィです。そのため、今まで発見できなかった雨漏りの侵入口も、明確に特定することができます。

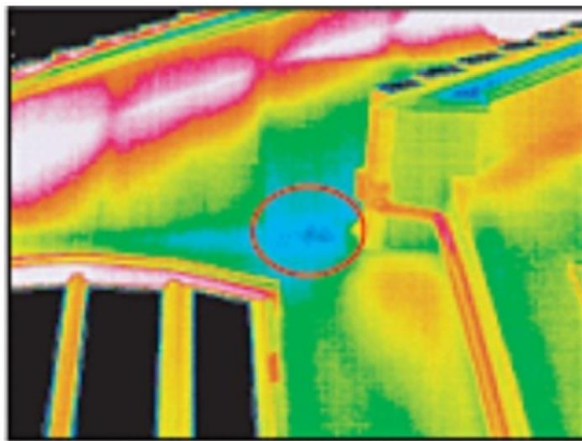
サーモグラフィの特徴は、広い面積を同時に捉えることができるため、モニター上に映し出される温度の相対比較を、ひと目で分析できます。

また、サーモグラフィは、対象物から離れて温度測定ができるため、動いているものや、近づくことができない危険なものでも、簡単に温度計測・分析することができます。



例えば、**上の2枚の写真**は、天井の一部と天井と壁の間が漏水している写真です。
サーモグラフィ上では、部屋全体の温度は、緑色で表示されています。

そして、暖房などで室内が暖まると赤色に変化します。しかし、**漏水箇所は水色で表示される**のです。サーモグラフィ上では、丸で囲った部分には、水色を乗り越えて、濃い青色が示されており、ここが漏水箇所であることが分かります。



また、**上の2枚の写真**は、外壁に放水後、表面が乾いてから、サーモグラフィで計測したものです。下屋の雨どい脇に、赤外線画像では濃い青色が示され、その部分に水が蓄積していることが確認できるのです。

まさに、『赤外線漏水調査システム』は、熟練のプロの技を確かなものにする最高のアイテムといえます。

雨漏り調査・修繕にかかるコスト・時間を、合理的に縮小・短縮できるのが『赤外線漏水調査システム』です。

ご依頼、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

発売以来大好評 スカイコートW 水系ウレタン樹脂

タイル仕上げの魅力を生かす

昨年7月より躍進がご案内している、強靱で柔軟な被膜を形成するタイル張り面の透明外壁防水材『スカイコートW』は、発売以来ますますご好評をいただいております、ご注文、問い合わせが多く寄せられています。

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした、1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜なので、タイル仕上げの意匠性をそのままに、雨水の侵入を防ぐことができます。



オール水系

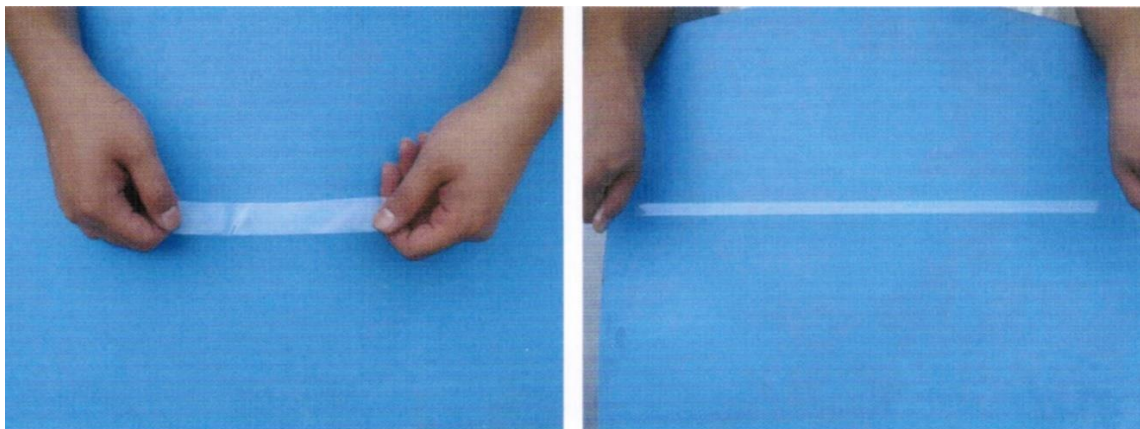


プライマーを含め、すべての構成材料は水系であり、危険物を一切含んでいないため、引火や中毒の危険がなく、居住者・作業員・環境にやさしい材料といえます。

抜群の高性能被膜

ウレタン樹脂の特性を生かし、強靱で柔軟な被膜を形成し、驚異的なひび割れ追従性（20mm 以上）、抗張積（2670N/mm）を備えています（下写真参照）。

また、専用プライマーにより、磁器タイルのような吸い込みの少ない下地へも強固に接着し、タイルの剥落の予防に寄与します。



優れた施工性

すべての構成材料は、1 液型のため煩雑な混合作業は必要ありません。壁面施工でもダレ難く、適度なレベリング性により、フラットな仕上がりになります。

防カビ・防藻機能

防カビ・防藻機能を付与しており、不快なカビや藻の発生を抑制します。

施工仕様

工 程		使用材料	塗布量(kg/m ²)	塗布回数	塗布間隔(目安)	塗装方法
1	プライマー	スカイコートWプライマー	0.1~0.2	1	春秋 約2時間 夏 約2時間 冬 約3時間	ローラー
2	防水層①	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
3	防水層②	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
4	トップコート	スカイコートWトップ	0.1~0.2	1~2	—	刷毛、ローラー

高い防水性に加えて、意匠性の確保や、施工性の高さなど、各方面で多大な評価をいただいております。

『スカイコートW』のご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

高齢者の住み替えを考える 住宅コラム

住み替えは、年齢によって、その内容がまったく異なるものです。特に、高齢者の住み替えは、より高い利便性の確保と、家のダウンサイジングの2点が、ポイントとなります。

まず、高い利便性の確保についてですが、高齢者には、いわゆる都会暮らしがふさわしいように思います。

よく「定年退職したら、都会を離れ、田舎に住みたい」という話を耳にしますが、果たして、それが有効なのでしょうか。実際に住んでみると、必ずしも、良い結果に結びつくとは限らないようです。

都会暮らしと田舎暮らしの最も大きな違いは、都会で暮らしているときに、何気なくできたことが、田舎暮らしでは、一つひとつに、大きな手間がかかることです。

例えば、それまでは徒歩10分圏内で、かかりつけの病院や商業施設に行けていたのに、それもできなくなる可能性があるのです。一言で言って、高齢者には、極めて困難な日々が待っているのです。これでは、住み替えが有効だとは言いきれません。

田舎暮らしの最大の問題点は、クルマがなければ成立しないところですが、必要不可欠なクルマを運転するにも、加齢に伴う高齢運転者の事故は、後を絶たない状況にあります。

言うまでもなく、加齢とともに、身体機能は低下します。動体視力や基礎体力に加え、瞬時の判断力の低下も起こります。これが、不測の事態への対応の遅れにつながるのです。高齢者の田舎暮らしには、クルマの運転に伴うこうしたリスクが付きまとうのです。

2点目の、家のダウンサイジングですが、これに関連して、三井不動産リアルティが実施した「中高年層の住み替え等に関する調査」(対象：2015年4月1日以降に持ち家を購入し住み替えをした、実施当時45歳以上の首都圏在住者1126人。調査期間：2021年1月30日～2月14日)の結果を見てみたいと思います。

年齢別による物件や住環境の変化として、住み替え時65歳未満の人の57.1%が「より広い家」に住み替えているのに対し、65歳以上の人では50.4%が「より狭い家」に住み替えています。部屋数も、65歳未満では「増えた」とした人が44.2%で、65歳以上では「減った」とした人が48.9%となっています。

これは、日々の掃除などの管理をはじめ、固定資産税の軽減など、様々な理由があります。そして、ダウンサイジングの特徴の一つに、一戸建てから、部屋数の少ないマンションへの住み替えがあります。

新しいマンションの特徴の一つとして、あらゆる点でバリアフリー構造が施されているため、高齢者には暮らしやすいと言えるでしょう。

また、オートロックなどにより、高いセキュリティも確保されています。

しかし、一戸建ての暮らしとの最大の違いは、上階や隣室の生活音が聞こえてくる可能性があることです。これが気になると、マンション暮らしは、決して快適とは言えません。

また、築年数が古くなればなるほど、管理費や修繕積立金が高くなっていくので、老後の家計の負担も大きくなるのです。

いずれにしても、高齢者の住み替えは、決して単純なものではありません。

ビルダーや不動産業者は、こうした点を踏まえ、十分な配慮に基づく適切な提案を心掛けなければならないでしょう。

株式会社 躍進 本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615 東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542 URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com	関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン 関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ	事業内容 防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、 ビンニング、シングル葺き 木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除 及び予防、調湿剤、床下換気 等 塗装工事：各種塗装 外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断
---	--	---